

超高齢非弁膜症性心房細動患者に対するリバーロキサバンの使用状況調査

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下記問合せ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使うと欲しくないと思われた場合にも、同様にその旨をご連絡下さい。

1. 研究の対象

2016年10月～2017年9月に、当センターでリバーロキサバンが投与された90歳以上の非弁膜症性心房細動の方

2. 研究目的・方法

非弁膜症性心房細動では、心房内で血液がよどみ、血栓が生じやすくなります。生じた血栓が全身に流出して、脳の血管にとんだ場合は脳梗塞を発症する危険があります。そのため、血栓発生を予防する目的で抗凝固薬が投与されます。抗凝固薬では、血栓を予防する一方で、出血の副作用が発生する場合があります。

リバーロキサバンはその抗凝固薬の一つであり、腎機能に応じて投与量の設定がなされているお薬です。高齢者では加齢に伴い腎機能が低下している場合も多く見受けられます。しかし、リバーロキサバンを投与した高齢者、特に90歳以上の超高齢患者様に関する症例報告は少ない現状があります。そこで、当院における90歳以上の患者様でリバーロキサバンが投与された方の、体重や腎機能、投与量、出血の副作用の有無などを集積して検討し、安全性を含めた新たな知見を得ることを目的としています。

本研究は、通常の診療で得られた診療情報や臨床検査の情報を個人を特定できない形で収集し、利用させていただきます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者様の基本的背景（年齢、性別、身長、体重、既往歴等）、リバーロキサバンの投与量、血液検査結果（腎機能等）、出血の副作用の有無等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者・問合せ担当者：東京都健康長寿医療センター 薬剤科 平山晶子

東京都板橋区栄町 35 番 2 号

電話番号 03-3964-1141（内線 2018）〈平日 9：00～17：00〉